

環境に配慮した建築物  
**鬼越の家**

所在地：市川市鬼越1-28-6  
施主：中川 政己  
設計：加藤武志建築設計室  
施工：(株)中川工務店



撮影：秋山 実

場所をていねいに読み取り、住み手とコミュニケーションを何度も繰り返す。そのうえで「住まい」と呼べる物理的環境を、状況の変化に応答しながら熟成できる空間として、その背景とともに構築すること。住宅建築における「環境」のテーマは、単に省エネルギーや省資源に止まらず、まさにそうしたごく基本的な、しかしどこかに忘れ去られてしまった設計所作の深化と呼応している。そのような所作を予感させるように、この作品は周辺の落ちついた街並みに溶け込んでいる。網戸もたてずに開放的な暮らしを長年続けてこられた施主の生活様式を出発点にして、外に対して「開く工夫」と「閉じる工夫」が無理なく組み合わせられ、美しく建築化されている。開閉する仕掛け、建具の収まり、空間の連続性、空気の流れ、自然光の制御、素材・色彩の選択、そのどれをとっても不必要な緊張を強いることがない。家全体が住み手の営みを介した「やさしい」空気と光と音で満たされている。同居す

るネコと住み手の誇らしくも穏やかな表情が、建築家の手腕と人柄を十二分に証明しているのがであった。こうした、一見あたりまえに見えながら、入念に計画・設計された一つ一つの住宅の積み重ねが地域の建築文化に貢献する。そう思わずにはいられない出来映え、暮らし振りである。

(岩村和夫)



撮影：秋山 実